

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日
12:30 ~ 13:30
例会場 刈谷市新栄町 3 の 26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566) 22-2111
FAX (0566) 25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 鈴木 文三郎
幹事 豊田 貴久
会報委員長 磯部 一智

2018 ~ 2019年度 国際ロータリー パリー・ラシン 会長テーマ

BE THE INSPIRATION インスピレーションになろう

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第3043回例会プログラム

[当年度=28回目；当月=2週目]

2019年（平成31年）3月11日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点 鐘……………〈副会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱……………我等の生業
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 食 事
- 12:45 7. 副会長挨拶並びに副会長報告
8. 幹事報告
9. 出席報告
10. 委員会報告
11. ニコニコボックス報告
12. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(3/18) ……卓話
講師 おけい鮎 橋本 博 様
(紹介者 加藤大志朗 会員)
(3/25) ……
花見例会（フェロシップ委員会）
12:00 ~ 十朋亭および歴史博物館
- 13:00 13. 本日のプログラム
新入会員アワー
宮地 秀将 会員
藤井 邦彦 会員
14. 謝 辞
15. 点 鐘……………〈副会長〉
16. 閉会宣言
- 13:30 17. 散 会

ビ ジ タ ー

半田 RC 小栗 宏次 様

出 席

会員総数 96名 出席免除 24名
出席義務者+免除者の内例会出席者 91名
欠 席 13名 出席率 85.71%
前々回（2/25）の修正出席率 100%

副 会 長 報 告

- 1) ガバナーエレクト事務所より、次年度地区委員会
出向決定通知と委嘱状が届きました。
地区諮問委員会 委員 野村重彦、会員増強委員
会 委員 水越彌生、職業奉仕委員会 副委員長 小
川耕示、社会奉仕委員会 委員 出口達也、国際奉
仕委員会 副委員長 磯部一智、ロータリー財団委員
会 会計長 兵藤文男、資金管理委員会 委員 兵藤文
男、資金推進委員会 委員長 野村紀代彦、補助金委
員会 委員 佐野彰彦、米山記念奨学委員会 副委員
長 加藤英樹



副会長あいさつ

室殿 豊



今日は「長寿」の話をしたいと思います。日本人の平均年齢は戦後急速に伸びて、戦後間もない1946年は男性50才、女性54才が、2018年には男性81才、女性84才で、なんと、70年間で30才も寿命が伸びて、香港に次ぐ世界第2位の長寿国になりました。

た。

また、100才以上の方は、1946年が、150人であったのに、「きんさんぎんさん」の双子の姉妹が100才で大変珍しいと言われた、1991年が3600人、それが昨年2018年は、約7万人に達しています。その中で女性が88%で、高齢になるほど、女性上位になっています。

佐藤愛子さんが、書かれた小説「九十才、何がめでたい」を三田佳子さんが演じ、ロータリーのメンバーも刈谷市総合文化センターで観劇させてもらいましたが、これからは、「100才何がめずらしい」の時代になってきました。

ご存知のとおり、平均寿命と平均余命は別で、最近の調査では、70才の方の平均余命は、約16年、80才の方の平均余命は、約9年で平均寿命より、かなり長くなっておりま

す。人生50年の時代から、人生90年さらに人生100年も目指せる時代になってきました。

きんさんぎんさんは、テレビで稼いだ金を何に使うかと聞かれ、「老後の貯金にする」と答えましたが、我々の世代は、お金を使っても、自分のために自由な時間を大いに楽しみ、第二の人生を謳歌すべきだと思います。

仕事をリタイヤしたあと、女性は家事育児を終えたあと、旅行や趣味の活動を大いに楽しむべきだと思います。

ロータリークラブの皆さんも長生きして、私や坂さんのようにリタイヤしても会員で残る人が増えれば、新規会員の加入あわせて、会員増強に繋がっていくと思いま

す。「我ら生涯ロータリアン」を合言葉に副会長あいさつを締めたいと思います。

新入会員アワー

宮地 秀将 会員



昨年の6月に入会させて頂きました地建興業(株)の宮地秀将です。

伝統と格式ある刈谷ロータリークラブに入会でき、本当にうれしく思います。

私は昭和52年3月4日生まれの42歳です。趣味はゴルフ、サウナ、旅行です。私の家族は妻、長男(5歳)と長女(3歳)の4人となります。

私は生まれつき体があまり丈夫ではなく、自分に自信が持てませんでした。しかし30代になり経営者の会などを通じて多くの出会いがありました。そこで様々なものを吸収して自分自身を変えることができ、父の会社を継ぎ社長となりました。これは人と人とのつながりがもたらしてくれた成長だと考えています。今後も良いつながりから更に成長して、豊かな人生にしていきたいと思

います。私の会社は父が昭和55年に設立し、本社が刈谷市場割町にあります。事業内容は、特殊土木工事で推進・セミナー、地盤改良、管路維持、補修、液状化対策、汚染土壌対策となります。メインで行っている仕事は下水、ガス、水道、電気などを、地下に埋設するためのトンネル工事です。それに加えて今後、力を入れていきたい事業を紹介させていただきます。

1つ目は管更生工事といって老朽管の補修工事になります。下水管などのコンクリート管は耐久性が約50年といわれていますので戦後に作ってきたインフラの老朽化が進んでいます。そのような管を補修する必要性が増しており、重点事業として考えています。

2つ目が海外事業になります。発展途上国では地下の整備がほとんど進んでいません。例えばベトナムでは下水はほとんどなく、水道もまだ30%以上漏水しているのが現状です。その為、雨が降るとすぐに洪水になります。需要が増大する海外での仕事を見据えて、ベトナム人のエンジニア、実習生を雇用して日本の技術を教えており将来は海外で活躍してもらおう予定です。これから今まで培った技術と日本の機械を活かして、世界で活躍したいと考えています。

新入会員アワー

藤井 邦彦 会員



2018年9月に入会させていただいた藤井殖産合名会社の藤井邦彦です。この度は伝統と格式ある刈谷ロータリークラブに入会させていただき、大変光栄に思います。

まず自己紹介をさせていただきます。

昭和43年に刈谷市で生まれ、小中校と刈谷市内の学校を卒業しその後日本大学農獣医学部応用生物科学科に入学。

大学では当時話題の学問の一つであったバイオテクノロジー全般について学んでおりました。

当時はサークル等に入ることもなく、アルバイトをしてお金をためて長期休暇に旅行に行くことを趣味としておりました。

主にバックパックでヨーロッパや東南アジアを中心に回っていました。

修士課程を修了後、沖縄にあります有限会社熱帯資源植物研究所（現：株式会社熱帯資源植物研究所）に入社し沖縄での生活が始まりました。

入社直後に自分の歓迎会で沖縄の洗礼を受けました。

これがうちな一タイムというものかと沖縄に来たことを実感したことを覚えています。

その後、同僚に誘われてダイビングをはじめ年に何回か行くようになりました。

慶良間ブルーと呼ばれる美しい海に魅せられ主に慶良間諸島でのダイビングを楽しんでおりました。

退職し刈谷に帰ってきてからは、まったく未経験の仕事であったため父に教わりながら仕事を一つ一つ進めている次第です。

こちらに帰ってからは特に趣味といえるものがなくなってしまう、大学時代のように旅行でもと考え、年に一回程度は旅行に行きたいと考え行っております。

こちらに戻って一番大きな変化は食生活が健康的になったのか、何か運動をしたわけでもないのに一人暮らしのころと比べて1年で10kg近く痩せました。

多くの服が着られなくなりましたがこのことで帰ってきてよかったと感じる点の一つです。

まだ若輩者ですが刈谷ロータリークラブの伝統を汚さぬよう努力いたしますのでご指導ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。

ご清聴ありがとうございました。